

平成30年

高次脳機能障害 講演会

品川区にお住まいの方で

当事者やご家族が高次脳機能障害と分からずにお困りになっている方

高次脳機能障害の対応が困難なご家族の方に

高次脳機能障害は脳疾患・頭部外傷・感染症等により、脳を損傷して生じる障害です。高次脳機能障害の人は日常生活の中でさまざまな不都合や暮らしにくさに直面します。しかし、外見から判りにくいため、周囲の人や家族さえ気がつかず理解されない場合もあります。そこで、今回は当事者や家族、関心のある方に高次脳機能障害を理解して頂き、家族会を知って頂くための講演会です。ぜひ、お気軽に参加してください。



日時

平成30年11月18日(日)
午後1時半～午後4時

参加費 無料

先着 80名

場所

品川区荏原第五地域センター
2階 大集会室

品川区二葉1-1-2 ☎03-3785-2000
大井町線「下神明駅」下車 徒歩2分

内容 & 講師

1部

講演

「高次脳機能障害の夫とともに生きる」

講師：柴本 礼 先生

(『日々コウジ中』『続・日々コウジ中』著者)



2部

家族会
紹介

活動内容について

定例会の紹介(グループワーク・家族相談会)

顧問：川手 信行 先生(昭和大学藤が丘リハビリテーション病院)

グループワーク指導：伊藤 滋唯 PT(ケアセンター南大井)

※2部終了後に、個別相談のお時間を設けております、お気軽にお立ち寄りください。

主催：品川区高次脳機能障害者と家族の会

後援：品川区

品川区社会福祉協議会

(共同募金配分金活用)

お申し込みは

渡辺(家族会代表)まで
ご連絡ください。

TEL 03-3781-0921

FAX 03-3781-9126

● プロフィール ●

しばもと れい

柴本 礼

1963年宝塚市生まれ、横浜育ち、世田谷区在住。慶應義塾大学卒業後、メーカーに勤務。結婚後はイラストレーターとして活躍、伊豆メルヘンの森美術館には、作品30数点を収蔵（本名の加藤玲子で）。

2004年9月、夫がくも膜下出血を起こして手術後、高次脳機能障害者になる。夫のリハビリ・社会復帰を支えたあとの2010年、主婦の友社より高次脳機能障害者である夫との生活を描いた『日々コウジ中』を出版。翌年同社より『続・日々コウジ中』を出版。ほかに『50シーンイラストでわかる高次脳機能障害「解体新書」』（名古屋リハ編・メディカ出版）、『リハビリスタッフ・支援者のためのやさしくわかる高次脳機能障害』（和田義明著・秀和システム）のイラストも担当。2013年、本やブログ・講演等を通して知り合った高次脳機能障害者の妻たちを中心とした家族会「高次脳機能障害 コウジ村」を立ち上げた。ほかには高次脳機能障害者と家族の会会員、世田谷高次脳機能障害連絡協議会会員、日本脳外傷友の会賛助会員、日本ケアラー連盟会員など。

家族は、夫（57）、娘（21）、犬（11歳）、猫2匹（4歳・2歳）。

ブログ：<http://hibikoujichu.blog.jp/>

かわて のぶゆき

川手 信行

昭和大学病院医学部リハビリテーション医学講座教授

リハビリテーション専門医

品川区高次脳機能障害者と家族の会 顧問

いとう しげただ

伊藤 滋唯

ケアセンター南大井理学療法士

「品の輪」品川区リハビリテーションネットワーク代表

品川区高次脳機能障害者と家族の会

グループワーク指導責任者

品川区高次脳機能障害者と家族の会 これまでの経緯

平成21年7月26日創設

毎月第3日曜日定例会「ひだまり広場」を開催する。

毎年7月、医療・福祉関係機関を招き交流会を開催し、平成22年より年に1回、品川区・大田区・目黒区の高次脳機能障害の家族会が連携し、3区合同の講演会を開催しています。平成25年より28年まで、きゅりあんにて「心の唄コンサート」を主催し、「ひだまりの会」として、3区の家族会が出演しました。

平成27年、家族会名称を変更、定例会の充実を図り、定例会にグループワークを取り入れ同時に家族相談会も行っています。レクリエーションや調理実習・新年会など、当事者と家族が楽しめる行事も企画しています。



会場：品川区荏原第五地域センター

品川区二葉1-1-2 ☎03-3785-2000

大井町線「下神明駅」下車 徒歩2分